

平成28年度事業団報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会、評議員会等状況

- 平成28年 4月 1日 前理事退任により、事業団定款第5条第4項並びに第8条第1項に基づき、理事並びに副理事長として山田忍氏の選任を行った。
- 平成28年 5月11日 八代市社会福祉事業団監事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開き、監事（馬淵惺敬氏、増田等氏）による平成27年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第19条に基づき監事の承認を受けた。
- 平成28年 5月25日 第4回（平成28年2回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の承認を受けた。また、報告事項として事業団理事の選任について報告し評議員会の承認を受けた。
- 平成28年 5月25日 第124回（平成28年2回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の認定を受けた。また、事業団評議員の選任、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。
- 平成28年 5月27日 平成27年度資産総額の変更登記について組合等登記令第3条第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（平成28年5月31日完了）
- 平成29年 1月25日 第5回（平成29年1回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度会計収支補正予算(案)、定款の変更について、並びに事業団理事の選任について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成29年 1月26日 第125回（平成29年1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度会計収支補正予算(案)、事業団評議員の選任、定款の変更、事業団評議員選任・解任委員会運営細則の制定、事業団評議員選任・解任委員の選任について、並びに事業団新評議員候補者の推薦について審議を行い、理事会の承認を受けた。
- 平成29年 3月13日 平成28年度第1回評議員選任・解任委員会（委員 稲田卓也氏、増田等氏、橋本洋明氏）を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、事業団評議員の選任について審議を行い、評議員選任・解任委員会の承認を受けた。
- 平成29年 3月17日 第6回（平成29年1回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度会計収支補正予算(案)、平成29年度事業計画・当初予算(案)について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成29年 3月17日 第126回（平成29年1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度会計収支補正予算(案)、平成29年度事業計画・当初予算(案)、利益相反行為及び双方代理となる事項、事業団諸規程の改正について、並びに事業団人事案件について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項として事業団評議員の選任について報告し理事会の承認を受けた。

2. 経営計画

・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。

・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるような施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。

○法人、施設経営への参画意識を高める

財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費、給付費）、業務委託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。

○人材の育成

今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者への人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

3. 指定管理者の状況

・八代市との協定書の締結（平成28年4月1日）
希望の里たいよう 指定期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日の5年間（1年経過）

4. 施設運営の変更等

・特になし。

5. 苦情相談状況

・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。

6. 施設長会 ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定例的に開催した。
 ・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。
7. 職員会議 ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、平成28年9月、平成29年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的実施した。
 なお、事業団内部経理監査を併せて実施した。
8. 職員研修 ・事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。
 ・事業団職員が組織人としてのモラルを高めるため、職場のルールについて平成28年7月に、等級別研修について平成28年8月、9月、11月に事業団職員研修を実施した。
9. 人事関係 ・事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
 ・事業団職員不祥事（交通死亡、ひき逃げ事故）について、状況説明及び今後の決意について、理事会及び評議員会に報告した。
 ・定年退職者＜平成29年3月31日＞八代市社会福祉事業団 施設長 福岡 修 氏
 ・自己都合退職者＜平成29年3月31日＞八代市社会福祉事業団 主 事 森 崎 麻 美 氏
 ・新規採用者＜平成29年4月1日＞ 八代市社会福祉事業団 主 事 宮 石 美 緒 氏
 八代市社会福祉事業団 主 事 堀 川 佳 一 氏
 八代市社会福祉事業団 主 事 桑 原 寛 文 氏
 八代市社会福祉事業団 主 事 阪 本 あすか 氏
10. 寄附関係 ・平成28年12月14日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円（希望の里たいようへ寄附）
11. 行事实施表・・・・・・別表1

12. 受託施設等の運営事業状況

		ページ
(1) 老人福祉施設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮	別途資料 29 ～ 42 参照
(2) 障害児通所支援事業所・ 八代圏域地域療育センター事業	八代市のぞみ母子センター	別途資料 43 ～ 54 参照
(3) 共同生活援助事業	グループホームおおぞら荘	別途資料 55 ～ 64 参照
(4) 障がい福祉サービス事業所	八代市立希望の里たいよう	別途資料 65 ～ 79 参照
(5) 相談支援事業	相談支援事業所たいよう	別途資料 17 ～ 20 参照

平成28年度行事实施表

月別	内 容
H28. 4	1. 第1四半期委託料 1. 辞令交付(昇格、定期昇給他) 7. 臨時施設長会(たいう) 21. 給与支払 22. 定例施設長会(たいう) 27. 税理士監査(決算) 28. 保健指導 5~8. 新採職員研修会
5	7. 施設長・庶務担当者会議(たいう) 11. 事業団監事会 16. 臨時施設長会(たいう) 20. 給与支払 24. 定例施設長会(たいう) 25. 事業団理事会・評議員会 27. 八代市社会福祉協議会 27. 熊本県経営者協議会経営研修会
6	16. 臨時施設長会(たいう) 21. 給与支払 24. 人事評価勉強会(社労士会) 24. 定例施設長会(たいう) 30. 期末勤勉手当支給
7	1. 第2四半期委託料 13. 地域療育センター会議 14. 熊本県指導監査(保寿寮) 19. 安管協分會合同會議 21-22. グループホーム等研修会 21. 給与支払 25. 定例施設長会(たいう) 27. 事業団職員研修(たいう) 29. 施設協会施設長連絡会
8	8. 人権問題啓発推進協議会総会 19. 給与支払 23. 事業所視察(人吉市) 24. 八代市ふれあいフェスタ会議 25. 事業団職員研修(たいう) 25. 定例施設長会(たいう)
9	6. 税理士月次監査 6. 公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会 13. 衛生管理講習会 21. 給与支払 23. 事業団職員緊急集会 24. 希望の里たいう緊急家族会 26. 定例施設長会(たいう) 27. 事業団職員研修(たいう) 27. 事業団新採職員フォロー面談 29. 庶務担当者会議(内部監査) 30. 八代市ふれあいフェスタ準備
10	1. 八代市ふれあいフェスタ参加 3. 第3四半期委託料 7. 弁護士相談 12. 安全運転管理者等講習 14. 臨時施設長会(たいう) 16. 事業団職員採用試験 20. 税理士月次監査 21. 給与支払 24. 定例施設長会(たいう)
11	15. 年末調整説明会 16. 臨時施設長会(たいう) 20. 事業団職員採用試験 21. 給与支払 22. 県内事業団事務職員研修会 24. 事業団職員研修(たいう) 22. 法人制度改革に関する法人向け説明会 28. 定例施設長会(たいう) 14~18. 事業団職員健康診断の実施
12	9. 期末勤勉手当支給 19. 税理士月次監査 21. 給与支払 21. 税理士監査(年調) 22. 定例施設長会(たいう) 27. 八代市社会福祉協議会評議員会 28. 年末調整支給 28. 事業団仕事納め式(たいう) 28. 事業団永年勤続表彰(たいう)
H29. 1	4. 事業団職員仕事始め式(たいう) 4. 第4四半期委託料 19. 税理士監査(給与支払報告) 20. 給与支払 24. 定例施設長会(たいう) 25. 事業団評議員会 26. 事業団理事会
2	3. 法人監査(八代市) 7. 地域療育センター関係者会議 21. 給与支払 21. 苦情解決第三者委員会 23. 定例施設長会(たいう) 24. 庶務担当者会議(内部監査)
3	10. 臨時施設長会(たいう) 13. 事業団評議員選任・解任委員会 14. 社会福祉法人労務研修会 17. 事業団評議員会 17. 事業団理事会 21. 給与支払 22. 保健指導 27. 定例施設長会(たいう) 31. 退職辞令交付式

指定相談支援事業所たひよう事業報告書

(1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市麦島東町9-7 リバーサイドビル3-A

※平成28年度より、八代市日奈久平成町1-1 養護老人ホーム 保寿寮内移転。

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

(5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・平成28年度につきましては実施なし（該当者なし）

①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

(6) 資質向上

- ①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)
- ②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)
- ③熊本県相談支援従事者初任者研修の受講。

(7) 関係機関等との連携

- ①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。
- ②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者(児)事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。

(8) 利用者数(契約者数)

対象者	平成28年度利用者数	利用者実数(累計)
障がい者	7名	33名
障がい児	33名	36名
計	40名	69名

(9) 実施支援数

①訪問相談	55件	④個別支援会議	72件
②来所相談	8件	⑤関係機関との調整	281件
③電話相談	62件	⑥同行・その他	250件

(10) 計画相談支援・障がい児相談支援

計画相談支援		
契約者	サービス等利用計画作成	モニタリング
33名	17件	47件

障がい児計画相談支援		
契約者	サービス等利用計画作成	モニタリング
36名	29件	53件

老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

1. 施設理念

敬愛の心で入所者の生活を支えます。

2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系（別紙資料1）

4. 入所者の状況

平成28年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	16	33	49
	市外	1	0	1
	合計	17	33	50
平均年齢		78.2	84.2	82.0
最高年齢		91	98	—
最低年齢		66	66	—

市外入所者内訳（宇城市1名）

平成29年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	15	34	49
	市外	0	0	0
	合計	15	34	49
平均年齢		76.7	84	81.8
最高年齢		91	98	—
最低年齢		67	67	—

市外入所者内訳（宇城市0名）

5. 年齢別入所状況

平成28年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	3	8	2	3	1	0	17
女	0	0	1	2	4	8	9	7	1	33
合計	0	0	2	5	12	10	12	8	1	50

平成29年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	4	7	1	2	0	0	15
女	0	0	1	2	4	9	10	8	0	34
合計	0	0	2	6	11	10	12	8	0	49

6. ショートステイ利用状況

- 利用者 10名(男3名、女7名)
 ・理由 …… 虐待、家庭の都合等
 ・延べ日数 …… 164日

7. 外部介護サービス利用状況

- ・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用
 平成28年4月1日現在 合計13名
 （要支援3名、要介護者10名）
 平成29年3月31日現在 合計12名
 （要支援2名、要介護者10名）

	利用者数
男	5
女	8
合計	13

	利用者数
男	4
女	8
合計	12

8. 障害者加算認定対象者増減状況

- 平成28年4月1日現在
 （身障3名、知的2名、精神3名）
 医療的診断書 10名）

	対象者数
男	8
女	10
合計	18

- 平成29年3月31日現在
 （身障4名、知的2名、精神3名）
 医療的診断書 10名）

	対象者数
男	7
女	12
合計	19

9. 職員の配置状況

平成28年4月1日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事 務 員	1
栄養士（嘱託）	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生 活 相 談 員	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱 託 医	1
合計	12

平成29年3月31日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事 務 員	1
栄養士（嘱託）	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生 活 相 談 員	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	2
支援員（嘱託）	0
支援員（臨時）	1
嘱 託 医	1
合計	11

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/1	ガラス飛散防止フィルム 工事一式	正面玄関ガラス戸に入所者が転んでガ ラスが割れた為	167,400 円
4/4	厨房給水管漏水修理一式	厨房給水管から水漏れが発生した為	18,360 円
5/20	グリストラップ排水管 修理一式	グリストラップより汚水が流出した為	10,800 円
7/21	台風被害復旧工事一式	台風災害において修理箇所を賠償保 険で一斉修理した為	1,702,371 円
7/28	正面玄関土間補修工事	正面玄関土間の畳石が地盤沈下により 破損がひどく歩行に危険が生じた為	86,400 円
7/29	厨房シンク水漏れ修理	厨房シンクの水道蛇口から水が止まら なくなった為	19,440 円
7/30	ベランダ防水補修工事	ショートベランダのモルタルが腐食し、 雨漏りが発生した為	97,200 円
8/16	西側側溝修繕工事一式	洗濯場の側溝が地盤沈下により宙に浮 いた形状になった為	382,665 円
9/7	壁紙等取替え工事一式	雨漏りによって4部屋の壁紙及び畳が 破損した為	66,000 円
9/20	放流ポンプ及び配管 修理一式	浄化槽維持保守の検査で、異物の混入が 多く、ポンプが故障した為	234,900 円
9/20	消防用設備点検 不良箇所修理	消防設備点検で不良箇所が見つかった 為	43,740 円
10/20	110号ガラス修繕一式	ガラス戸に入所者が転んでガラスが割 れた為	153,576 円
10/25	浴槽補修工事一式	浴槽内のタイル等が剥がれ、漏水が発 生した為	367,200 円
10/27	電気配線工事一式	停電時等に自家用発電機で給水ポン プが作動できるようにした為	81,000 円
11/19	支援員室給水管修理一式	支援員室の給水管が破損、水漏れが発 生した為	32,400 円
12/14	厨房スチールドア 修理一式	厨房スチールドアの動きが悪くなり、開 閉出来なくなった為	35,532 円
2/27	給油ボイラーマイコン 制御盤交換一式	ボイラーの制御盤が故障し、1基のボイ ラーが作動しなくなった為	97,200 円
2/28	消防用設備点検 不良箇所修理	消防設備点検で不良箇所が見つかった 為	15,660 円
設備整備合計金額：3,611,884円			

11. 平成28年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	49	50	50	50

②. 入退所異動者

(1) 入所

月/日	氏名(男女別)	入所前在籍先
4/30	Y・F (男)	ケアホーム
5/26	S・M (女)	在宅
9/1	T・U (女)	在宅
10/1	Y・N (女)	在宅
11/1	Y・K (女)	在宅
12/12	K・M (女)	有料老人ホーム
1/26	Y・N (女)	在宅
2/27	N・M (女)	在宅
3/1	T・U (男)	有料老人ホーム

(2) 退所

月/日	氏名(男女別)	異動先
4/15	S・Y (女)	八代更生病院
5/12	T・S (女)	在宅
8/24	N・H (女)	入院死亡
9/16	K・F (女)	八代医師会
10/28	M・K (男)	本人死亡
11/8	T・T (男)	有料老人ホーム
1/25	K・F (男)	ハピネスケア日南
2/13	T・M (男)	有料老人ホーム
2/20	S・H (女)	キャッスル麦島
3/12	A・S (男)	入院死亡

12. 事故報告件数

平成28年度件数 23件

(内訳)

- ①転倒（屋内） 17件
- ②転倒（屋外） 1件
- ③誤嚥（食事） 0件
- ④服薬（誤飲） 1件
- ⑤無断外出 0件
- ⑥救急医療 2件
- ⑦その他 2件

※職員会議にて報告・検討

13. 苦情相談件数

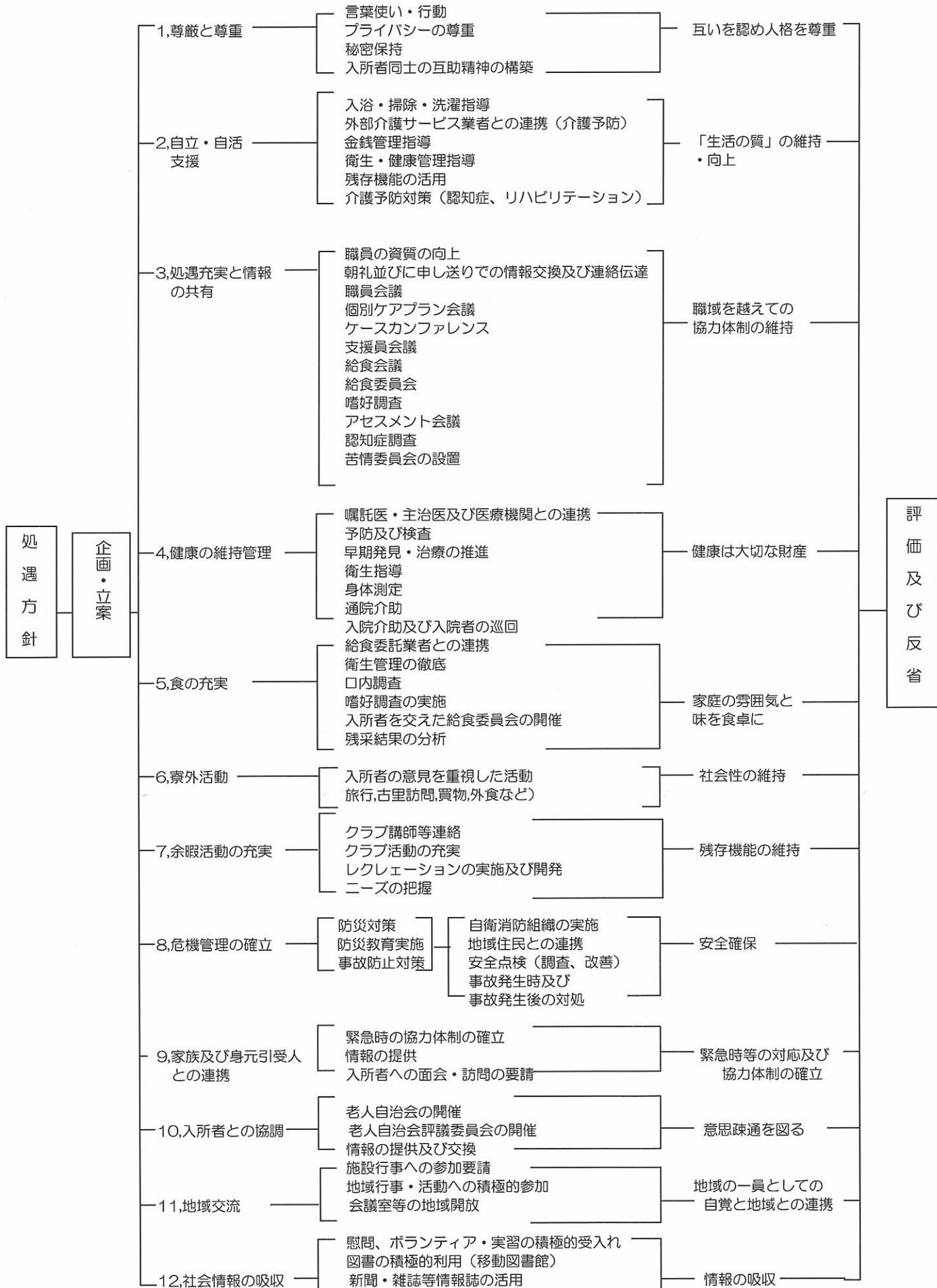
平成28年度件数 5件（内：未解決0件）

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル（暴力・暴言等） 1件
- ②被害妄想と思われるもの（居室侵入等） 0件
- ③職員の対応等に対するもの 3件
- ④身元・地域・事業所等外部からの苦情相談 0件
- ⑤その他 1件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地 域 交 流 ・ 慰 問 関 係 ・ そ の 他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・職員会議 ・ケアプラン会議 ・アセスメント会議 ・理髪 ・体調測定 ・誕生会 ・コーヒータム ・特別メニュー食(月1回) ・買物日 	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、	介護訪問調査、 感染症対策委員会	瑞峰流慰問 日奈久小学校入学式 ショート利用4名
5		菖蒲風呂、 防火避難訓練、 バラ園見学	認知症調査、 介護訪問調査	日奈久小中合同運動会見学
6		氷室祭参拝、 苗植え(から芋)、 寮内草取り 参議院選挙不在者投票	介護訪問調査、保健衛生指 導、給食委員会、エアコン 清掃、水質検査(温泉水) 室内消毒	日奈久小4年生交流会
7		七夕、預貯金報告 全体レクリエーション	検尿、健康診断(心電図)・ 一般採血・リドゲリ、介護 訪問調査、 感染症対策委員会	日奈久小4年生交流会 日奈久老人会交流会
8		盆用品買物、仏壇磨き、 盆供養法話、和みの会	嗜好・口内調査、介護訪問 調査、ガラス清掃、換気 扇・トイレ排水溝掃除、 布団クリーニング	日奈久ひよっこ爆笑会慰 問 ショート利用1名
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け	給食委員会、介護訪問調 査、施設内外安全点検、 貯水槽清掃、給食委員会	八代市盲人福祉協議会慰問 ショート利用1名
10		寮内草取り、芋掘り、預貯 金報告、交通安全教室(市 役所、ふれあいフェスタ 見学、余暇活動(天草方面)	介護訪問調査、インフルエ ンザ予防注射、嗜好調査、 浄化槽清掃、ワックス清掃	中嶋町獅子舞保存会慰問 八代市地域婦人会連絡協議 会研修 ふれあいフェスタ出展 ショート利用1名
11		余暇活動(水俣方面)、妙 見祭見学	介護訪問調査、エアコン清 掃、室内消毒、感染症対策 委員会	花馬來寮、 さくら善友会慰問
12		忘年会、正月用品買物、 大掃除、ゆず風呂	保健衛生指導、介護訪問調 査、ガラス清掃、給食委員 会、水道水法定検査	日奈久小4年生交流会、 八代地域婦人会慰問 麦島校区婦人会研修 認知症サポーター研修 ショート利用1名
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや、	感染症対策委員会、給食委 員会	入所者状況調査 ショート利用2名
2		豆まき 全体レクリエーション 余暇活動、防災避難訓練	食事摂取調査、給湯器洗浄	ショート利用3名
3		彼岸供養、花見 余暇活動(人吉方面)	給食委員会 健康診断(心電図)・一般採 血・検尿)	日奈久老人会交流会 二見中央保育園慰問 コロンビア大学生見学 ショート利用1名

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(8名) ・詩 吟・毎月2回(9名) ・書 道・毎月2回(10名) ・音 楽・毎月2回(希望者)

・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者)

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年2回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回)

※各種施設点検(随時)

1、設置目的

児童発達支援

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、日常生活における基本的動作及び知的技能を習得し、並びに集団生活に適応できるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

放課後等デイサービス

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

2、利用登録者(障害別・年齢別)

児童発達支援事業 H29.3

種別	計	男	女	計
肢体不自由児	2			
自閉的傾向児	16			
ダウン症児	0			
知的障害児	5			
難聴児	0			
未診断	16			
未受診	0			
計	39			

	男	女	計
年長児	11	3	14
年中児	9	7	16
年少児	4	1	5
0.1.2歳	3	1	4
計	27	12	39

放課後等デイサービス H29.3

種別	計	男	女	計
肢体不自由児	2			
自閉的傾向児	25			
ダウン症児	0			
知的障害児	2			
未診断	1			
未受診	0			
計	30			

	男	女	計
1年生	3	0	3
2年生	4	2	6
3年生	7	2	9
4年生	4	1	5
5年生	2	1	3
6年生	1	0	1
中学生	3	0	3
計	24	6	30

3、療育の内容

児童発達支援事業

1) 年齢別クラス

- ・活動 月・火・水・木・金は8時30分～12時30分、火・水・金は13時30分～17時30分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解、コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

2) 身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1時間30分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ることと、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

3) 土曜日療育

- ・活動 第2土曜日(療育時間:8時30分～14時30分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分でを行い、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

放課後等デイサービス事業

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう、指導及び訓練を行う。

一週間の流れ

曜日	月	火	水	木	金	第2土
時間						
8:30～12:30	年少児	年中児1	年中児2	年中児3	0,1,2歳児	8:30～14:30 ・放課後等デイ ・身辺自立
13:30～17:30	身辺自立 放課後等デイ	年長児1 放課後等デイ	身辺自立 放課後等デイ	年長児2 放課後等デイ	年長児3 放課後等デイ	

4、八代圏域地域療育センターからの支援

(理学療法士・作業療法士・心理士・言語聴覚士)

- ① 療育相談
- ② 勉強会

※ 八代圏域地域療育センターと連携を図り、利用者のニーズに沿った専門性の高い支援を受けた。

5、利用状況

区分	開所 日数	児童発達支援			放課後デイ			月間 人数	一日 平均 人数	前年度 一日平均 人数	内 容
		利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数	利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数				
H28 4月	日 20	33	45	6	28	75	4	120	6.0	9.9	26 交通安全教室 28 支援日程調整会議
5	20	39	90	15	29	85	6	175	8.8	10.7	10.26 交通安全教室 18.21.25 体操教室(年長・年中・放課後等デイ) 31 就学についての勉強会(年長児保護者)
6	23	42	116	21	34	98	9	214	9.3	10.7	2,3 八代支援学校体験デー 8 通所支援事業所連携会議 17 特別支援就学説明会 18.20 体操教室(年少・放課後等デイ)
7	21	43	111	24	32	87	8	198	9.4	11.1	1 体操教室(0.1.2) 20 保護者会 28 八代市自立支援協議会
8	22	43	121	23	28	86	12	207	9.4	10.4	8 感覚統合勉強会 9 八代市自立支援協議会こども部会 22~26 のぞみ夏祭り 30 釜理学療法士による勉強会(保護者・スタッフ)
9	21	44	110	23	29	98	5	208	9.9	11.3	6 ファシリテーター養成研修 7 保護者会 13 サポートブック勉強会(年長児保護者) 30 八代支援学校公開授業
10	21	42	101	19	32	100	7	201	9.6	11.3	13.14 防火管理者研修 31 感覚統合勉強会 17 児童発達支援管理責任者研修 19 通所支援事業所連絡会議 20.21 特別支援教育就学説明会(年中) 25 スキルアップ研修(こども総合療育センター)
11	21	42	115	24	29	92	17	207	9.9	9.7	11.30 スキルアップ研修(こども総合療育センター) 9 消防総合訓練 22 熊本県社会福祉事業団事務職員研修 29 八代市自立支援協議会こども部会
12	20	39	123	15	30	92	10	215	10.8	10.7	2.5 スキルアップ研修(こども総合療育センター) 6.7 就学に向けてOBの話(年中児保護者) 12 就学指導委員会 15 八代圏域保護者交流会 17 クリスマス会(イオン)音楽療法 19 消防署立ち入り検査 19 交通安全教室
H29 1	20	40	103	14	28	98	9	201	10.1	9.7	6 がめさんプロジェクト 18 通所支援事業所連携会議 20 グループファシリテーター企画会議 21 おもちゃ作り教室 30.31 児童発達支援管理責任者養成研修
2	20	37	105	18	28	90	10	195	9.8	10.8	2 スタッフ勉強会(ハートリーフクッションについて) 7 八代市自立支援協議会こども部会 10 就学指導委員会 13~17 ルーテル学院院大学生実習(2名) 27 水害・土砂災害に関する管理者向け説明会
3	23	40	109	21	27	87	12	196	8.5	9.7	7.8 児童発達支援管理責任者研修 8.13 体操教室(年中・年少) 14 消防総合訓練 21 集団指導(県庁) 27.29 おもちゃ作り教室
計	252		1249	223		1088	109	2337	9.3	10.5	

6、評価 ○平成28年4月に起きた熊本地震の約一週間は、療育の受け入れを自粛した。実績に影響している。

○特に未満児は個別の関わり子どもさんが多かった。その為、新規の契約を行わず小グループでの療育を行った。

○放課後等デイサービスのガイドラインに定められたことを周知し、支援の質の向上を図っていく。

●療育三事業

(在宅支援訪問療育等指導事業)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	1	6	4	7	4	5	3	4	2	5	4	0	45
件数	1	6	5	8	6	5	3	6	2	5	4	10	51

○主な相談内容

- ・発達相談や児の特性理解
(ことばの遅れ、感覚・運動機能、神経症・心身症、吃音、発音、パニックや切りかえの悪さなどの問題行動、身辺自立、構造化 など)
- ・関わり方
- ・ケース会議 (園・学校にて)
- ・療育について (情報提供、見学)
- ・医療受診について
- ・学校について (就学先検討、見学、転校など)
- ・保育園について (入園、転園など)

(在宅支援外来療育等指導事業)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	8	10	14	11	16	10	12	8	8	6	10	6	119
件数	9	14	21	16	26	17	18	10	9	8	14	7	169

○主な相談内容

- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音、吃音について
- ・療育について
- ・医療受診について
- ・保育園について (入園、転園など)
- ・就学相談 (学校教育課と連携)
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・登園、登校しぶりについて
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・ペアレント外来～親子関係のトレーニング～
- ・ぞうさん教室

(施設支援一般指導事業)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	4	14	14	15	8	12	14	12	12	11	13	6	135
件数	4	16	15	15	8	14	15	12	13	11	13	6	142

○主な相談内容

- ・発達相談と児の特性理解と関わり方
- ・保護者への働きかけ方や対応
- ・クラス全体のまとめ方
- ・個別支援計画について
- ・肢体不自由児の姿勢について

●その他

(1) 熊本県こども療育センターとの連携

- ・療育拠点施設事業における地域支援

(2) 県教育事務所との連携

- ・八代地域特別支援連携協議会
- ・八代地域特別支援教育相談会

(3) 八代市学校教育課との連携

- ・八代市特別支援連携協議会就学指導委員会
- ・八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割
- ・就学説明会

(4) 氷川町学校教育課との連携

- ・氷川町就学指導委員会

(5) 八代圏域通所支援事業所との連携

- ・連絡会議及び合同勉強会

(6) 八代市障がい者支援協議会

(7) 地域の保護者会への支援

(8) 氷川町5歳児健診

(9) ペアレントメンター

- ・コーディネーター養成研修、会議、フォローアップ研修

<評価>

○相談内容は多岐にわたることは変わらないが、療育や発達障害児への理解が深まり、継続利用されている家庭や園での関わり方はよくなってきていると思われる。

○地域の問題を地域で解決できるように障がい児に関わる支援者に対して、スキルアップを目的とした関わりを求められている。

平成28年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
- (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
- (3)ホーム所在地 八代市麦島東町4号8番地・12番地
- (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
- (5)定員 6名(男3名・女3名)

2. 入居者状況(平成29年3月31日現在)

(1)定員6名(男3名・女3名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
助 共 事 同 業 生 活 援	入居者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	3	3
計	6	6

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	3	6
計	3	3	6

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	128歳	43歳
女	186歳	62歳
計	314歳	52歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	3	0	3
計	6	0	6

(6)年齢別

性別	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	0	1	2	0	0	3
女	0	0	0	1	2	3
計	0	1	2	1	2	6

3. 対象者

対象者	対象者像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（管理者との兼務）	4(4対1)

5. 支援内容

(1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場においては、健康作りを目的として20分間程度公園等で散歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6カ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

8. 支援結果(まとめ)

(1)日常生活支援

- ① 全員が挨拶等大きな声できるようになってきた。
- ② 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ③ 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)

(2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビを鑑賞、または、買い物に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。
- ③ お風呂の掃除、食前の配膳、食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行った。
- ④ 毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。
- ⑤ 毎月、避難訓練を実施した。

(3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温を行い健康管理に努めた。
- ③ 薬の服用については、自らが服用できているか確認できるように支援を行った。
- ④ 体調が悪い時には、自ら申し出があり、世話人の方で対応した。
- ⑤ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

(4)熊本地震の対応について

・入居者2名は自宅に帰宅し、4名については 4/16(土)～4/21(木)の夜間において、希望の里たいようへ自主的に避難をしました。(管理者・世話人において対応)

・避難中においては、不眠になったり、「グループホームに帰る」と叫んだり、壁を叩くなどの行為があり、体調不良または、精神的に不安定な状況であった。ストレスを溜めないように、しっかり休むように声掛けを行った。

(5)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種目			
			買物カゴ	公園作業	パン製造	印 刷
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女3)	就労移行支援事業				
		就労継続支援B型事業	1	2	1	1
有限会社ホープクリ ーニング八代工場	(男1名)	八代市海士江町 2332-4	1			
地域移行	該当者無					

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

平成 28 年度 行 事 実 施 表 (グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	研修会関係
4	9 レクリエーション(ドライブ) 15 消防設備点検 23 地域清掃	23 避難訓練	21 世話人会議		
5	7・21 レクリエーション(ドライブ) 14・28 レクリエーション(DVD鑑賞) 26 家族会総会 28 地域清掃	28 避難訓練	26 世話人会議		
6	25 地域清掃	25 避難訓練	23 世話人会議		
7	9 レクリエーション(ドライブ) 21 水質検査 30 レクリエーション(ドライブ) 30 地域清掃	30 避難訓練	21 世話人会議		5 レジオネラ症立入事前 説明会
8	20 レクリエーション(ドライブ) 27 地域清掃	27 避難訓練	24 世話人会議		
9	16 誕生会 17 レクリエーション(ドライブ) 24 市民体育祭(フライングディスク) 24 地域清掃	24 避難訓練	21 世話人会議		
10	1 八代市ふれあいフェスタ参加 21-22 利用者研修旅行 (唐津方面) 29 地域清掃 29 中短大ざぼん祭参加	29 避難訓練	19 世話人会議		8 感染症研修会
11	5 レクリエーション(DVD鑑賞) 12 レクリエーション(ドライブ) 18 誕生会 26 地域清掃	26 避難訓練	22 世話人会議		
12	3 利用者カラオケ大会 利用者・家族・職員との交流会 10 レクリエーション(ウォーキング) 17 レクリエーション(ドライブ) 27 餅つき会 29 地域清掃・大掃除	29 避難訓練	21 世話人会議		
H29. 1	7 レクリエーション(初詣) 13 消防立入検査 14 誕生会 鏡開き 21 レクリエーション(ハクタンク大会) 28 高田公民館祭参加	28 避難訓練	23 世話人会議		
2	3 豆まき 25 地域清掃	25 避難訓練	21 世話人会議		
3	4 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 誕生会 25 地域清掃	25 避難訓練	16 世話人会議		

平成28年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(平成29年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	29/1	2	3
生活介護	登録人員	12	12	12	13	14	14	14	14	14	14	14	13
	入所			1	1								
	退所												1
支援 就労移行	登録人員	4	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	入所												1
	退所	2				1						1	
支援 B型 就労継続	登録人員	69	69	67	68	68	68	70	69	69	69	69	69
	入所	1		1	1		2						1
	退所	1	2		1			1					1
合計		83	81	83	84	83	85	84	84	84	84	83	83

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 92.58 %

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	1	0	1名
就労継続支援B型	45	24	69名
生活介護	6	7	13名
合計	52	31	83名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	46	31	77名
氷川町	2		2名
芦北町	3		3名
菊陽町	1		1名
合計	52	31	83名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,220.0	43.5
女	1,217.0	41.7
合計	3,436.9	42.6

⑤ 障害種別

	生活 介護	移行 支援	継続 B型	計
知的	8	1	48	57名
身体	4		14	18名
精神	1		7	8名
合計	13	1	69	83名

⑥年齢別

	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60歳 以上	合計
男	1	6	8	3	2	14	10	8	52名
女		2	5	1	6	7	8	2	31名
合計	1	8	13	4	8	21	18	10	83名

3. 職員配置状況(平成29年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計 職員数
	管理者	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1兼務	2
看護師	1			1
職業指導員		1.5	7.5	9
生活支援員	1	1	1	3
就労支援員		1		1
事務員兼指導員	1	1兼務	1兼務	2
合 計	4	4.5	10.5	19

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	13名	289件	207日	1,931人	317,000 円	58,676 円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。						

・就労移行支援事業

(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	13名	1,173件	242日	2,474人	14,115,000 円	15,161,059 円
オンデマンド印刷機の導入並びに営業活動により受注幅が拡がり収入増額に繋がった。						

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	11名	40,746個	210日	2,173人	45種	6,343,000 円	5,904,873 円
主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。							

・就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	11名	728,550個	242日	2,323人	7,378,000 円	7,737,866 円
受注数(個数)の増加による。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
3名	18名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,272,000 円	4,817,659 円	
・麦島東公園		作業稼働日数	165日	延べ人員	2,550人
・末広公園		作業稼働日数	120日	延べ人員	1,794人
・水無川公園		作業稼働日数	137日	延べ人員	2,028人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	107日	延べ人員	1,531人
・熊本総合病院駐車場		作業稼働日数	9日	延べ人員	63人
・上片墓園		作業稼働日数	117日	延べ人員	1,687人
・今年度、新規にて上片墓園清掃を行った。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	17名	フルーツキャップ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・シール貼り			1,800,000 円	1,893,022 円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,398,078個	241日	2,535人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		64,209個	137日	39人	すずきパッケージ(下請)八代市	
箱製缶		208,071個	234日	1,136人	中川パッケージ(下請)八代市	
ボール洗浄		60,000個	21日	172人	(株)モードテラ(下請)東京都	
EMボカシ製造・販売		2,539個	49日	153人	自主製品	
シール貼り		89,153枚	51日	157人	西田精麦(株)・八代市観光振興課	
重度者向けの作業種目として位置付けて実施してきた。全員が協力し作業を行った結果、目標額を達成することができた。						

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 13名	就労移行 1名	B型事業 69名	一人当たりの月額平均工賃
3,119 円	9,908 円	16,015 円	13,952 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30~16:00 ・対象者 10名 ・指導者 2名	・就労への意識付け ・就職に必要な心構えについて ・挨拶の重要性について ・履歴書の書き方 ・パソコンに関する知識の向上
---	--

以上の就労基本訓練を行った。

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車
コース	車種	人員				
南廻り(郡築方面)	リフト付きマイクロバス	17名	5名	13名	4名	8名
北廻り	29人乗りマイクロバス	17名				
鏡町廻り	8人乗りワゴン	5名				
坂本廻り	4人乗りワゴン	4名(2回)				
日奈久廻り	4人乗りワゴン	2名				
金剛廻り	8人乗りワゴン	8名				
計	6台	53名	5名	13名	4名	8名
合計	83名					

※送迎支援を実施した結果

- ・利用者定員の確保に繋がった。
- ・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的な生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

9. 地域との交流

- ①高田小学校、中学校との実習を含めた交流、職場見学等を行った。
- ②中九州短期大学ざぼん祭へ参加し、パン販売も出店した。
- ③高田公民館祭へ参加し、パン販売も出店した。
- ④毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)

10. 支援結果

(1)生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は、利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動

嘱託医の指導により平行棒を使った歩行訓練、バランスボールでの平行感覚等を個々に合わせた機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行が困難な利用者の下肢の強化に繋がった。

- ・学習活動、創作活動

- ① 数字、文字等繰り返し学習することで少しずつ習得されてきた。
- ② 余暇活動では、ドライブ等で季節感を養うことができた。

- ・重度の利用者(区分5)に対しては、職員を増員し、1対1での対応を行った。

(2)就労移行支援事業

①パン製造・販売

- ・利用者各々が作業に対して責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・切り取り線入れについては、支援を必要とせず利用者一人で行うことができるようになった。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。又、作業技術の向上に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

(3)就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身につけてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。

②公園作業

- ・個別指導により、利用者の草刈り機、芝刈り機等の操作技術が向上に繋がった。
- ・作業を通じて協調性、忍耐力が養われてきた
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきたと

③軽作業、

- ・挨拶、返事が積極的に大きな声で言えるようになってきた。
- ・フルーツキャップ折、箱折り、カート清掃、ボカシ製造等を通して、勤労意欲が高まり、同時に協調性、持続性が身につけてきた。又手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。
- ・自閉的傾向の利用者が(足、頭、鼻等を石鹸で必要以上に洗い、泡だらけになっている状況があった)、職員が連携した取り組みにより改善ができたが、注意観察が必要である。

(4)一般就労移行者(就職)

就労移行支援事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労移行支援事業	M・Y	男性	50代	H28. 4. 21	(株)児湯食鳥八代工場

就労継続支援B型事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業					
	該当者無				

11. 地震による影響・対応

- ①4月の地震発生より、5月の連休後までの利用者出勤が著しく低下した。
- ②出勤率の減少による工賃支給額が低下した。
- ③全利用者世帯へ電話連絡を行ったが、安否確認や現状確認が十分でなかった。
- ④避難場所等の情報提供が不足していた。
- ⑤利用者・家族・施設建物・職員等、各自で避難された経緯、建物被害(利用者・職員等の自宅を含む)はあるものの、6月以降は通常通り開所することができ、震災の影響で退所される方はいなかった。

平成 28 年度 行 事 実 施 表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	4-8利用者体調週間 9 レクリエーション(ドライブ) 11 就労移行勉強会 16 家族会総会(地震の為延期) 25 就労移行勉強会	28 避難訓練	5 臨時職員会議 12 生活介護会議 14 就労B型会議 15 就労移行会議		5 地域清掃 11 高田小学校入学式参加	28 市障がい者福祉事業所連絡会総会 1名
5	7 レクリエーション(ドライブ) 9-13 利用者体調週間 9 就労移行勉強会 14 レクリエーション(DVD鑑賞) 21 レクリエーション(ドライブ) 23 就労移行勉強会 25 健康相談(囁託医 田淵医師) 28 レクリエーション(DVD鑑賞)	26 避難訓練	17 生活介護会議 18 就労移行会議 19 就労B型会議 23 職員会議		11 地域清掃	16 県施設協会評議員会 1名 31 県社会就労センター施設長会 1名
6	1,2 利用者特定健診(40歳以上) 6-10 利用者体調週間 27 就労移行勉強会	30 避難訓練	15 就労移行会議 21 生活介護会議 22 就労B型会議 23 職員会議	20,22 体験利用 1名 6-10 松橋支援学校 2名 13-24 松橋支援学校 1名 6-17 芦北支援学校 1名 7-10 八代支援学校 1名 13-28 中九州短大 5名	1 地域清掃	2 市障がい者福祉事業所連絡会議 1名 3 中九州短大実習受入説明会 1名
7	2 家族会総会 2 レクリエーション(DVD鑑賞) 4-8 利用者体調週間 9 レクリエーション(ドライブ) 11 就労移行勉強会 12 施設内研修(熱中症予防) 25 就労移行勉強会 30 レクリエーション(ドライブ)	27 避難訓練	19 生活介護会議 20 就労移行会議 20 就労B型会議 20 職員会議	5 第三中学校 2名 6-7 第六中学校 1名 12-14 第五中学校 2名	6 地域清掃 24 八代手をつなぐ育成会総会へ参加 5名	7 市障がい者福祉事業所連絡会議 1名 13 城南ブロック施設長会 1名 13 就労ネットワーク会議 2名 21 製品サービス向上研修会 1名 21 市障がい者福祉事業所連絡会議 1名 27 八代地区人権同和教育研究会 1名 29 県施設協会施設長連絡会 1名
8	1,2 利用者特定健診(40歳以下) 8-12 利用者体調週間 8 就労移行勉強会 20 レクリエーション(ドライブ) 22 就労移行勉強会	29 避難訓練	16 生活介護会議 17 就労移行会議 19 就労B型会議 24 職員会議	1-5 芦北支援学校 1名 8-10 八代清流高校 3名 22-9/6 中九州短大 5名	2 八代特別支援教育中学研究部会 5名 18 八代更生病院 1名 18 就業生活支援 結 4名	18 市障がい者福祉事業所連絡会議 1名 30 就労ネットワーク会議 2名
9	5-9 利用者体調週間 17 レクリエーション(ドライブ) 24 レクリエーション(カラオケ) 24 八代市民体育祭参加(フライングイタリ) 30 ふれあいフェスタリハーサル	28 消防総合訓練	20 生活介護会議 20 就労移行会議 21 就労B型会議 21 職員会議	26-10/7 芦北支援学校 1名	14 地域清掃	12 防犯講習(県庁) 1名
10	1 市ふれあいフェスタ参加 3-7 利用者体調週間 8 レクリエーション(DVD鑑賞) 29 レクリエーション(中九州短期大学ざぼん祭見学)	27 避難訓練	17 就労移行会議 18 生活介護会議 19 就労B型会議 20 職員会議	26-10/7 芦北支援学校 1名	14 かんね 2名 29 中九州短期大学ざぼん祭パン販売出店	17 サービス管理責任者研修 1名 18 食品衛生講習会 1名 26 就労ネットワーク会議 1名 30 第二つつし栗崎園長瑞宝章を祝う会 1名
11	5 レクリエーション(DVD鑑賞) 5 八代学園ふれあい祭参加 7-11 利用者体調週間 11 飾り馬奉納見学 22 レクリエーション(ドライブ)	28 避難訓練	14 生活介護会議 17 就労移行会議 18 就労B型会議 24 職員会議	14-30 中九州短大 1名	1 わかあゆ 2名 9 松橋支援学校 2名 10 地域清掃	7 県社会就労センター施設長連絡会 1名 9 工賃アップ研修会 1名 17 市障がい者福祉事業所連絡会議 1名 30 福祉サービス苦情解決研修会 1名 30 相談支援従事者初任者研修会 1名
12	3 レクリエーション(カラオケ) 3 お楽しみ交流会(保護者合同) 5-9 利用者体調週間 10 レクリエーション(ウォーキング) 17 レクリエーション(ドライブ) 27 餅つき会 28 大掃除・利用者仕事納め	26 避難訓練	13 生活介護会議 13 就労移行会議 16 就労B型会議 21 職員会議		7 地域清掃 16 八代支援学校	1 相談支援従事者初任者研修会 1名 2 県社会就労センター施設長会 1名 7 中九州短大実習受入説明会 1名 8-9 サービス管理責任者研修会 1名 12 相談支援従事者初任者研修会 1名 14 障がい者就労支援セミナー 1名 20 城南ブロック施設長会 1名
H28.1	4 仕事始め 6 社会科見学(カゴ班:島原方面) 7 レクリエーション(初詣) 10-13 利用者体調週間 14 レクリエーション(鏡開き) 21 レクリエーション(ベタンク) 28 高田公民館祭見学	27 避難訓練	16 就労B型会議 17 就労移行会議 19 生活介護会議 23 職員会議	25-27ながしゅう利用者 1名 30-2/14 中九州短大 4名	11 地域清掃 28 高田公民館祭パン販売	18 就労支援基礎研修 1名 18-19 相談支援従事者初任者研修会 1名 20 県施設協会施設長連絡会 1名 24 県障害者虐待防止権利擁護研修 1名 25 就労支援基礎研修 1名
2	2 社会科見学(公園班:熊本方面) 3 豆まき 3 歯科検診 6-10 利用者体調週間 8 交通安全教室	24 避難訓練(小)	15 就労移行会議 16 生活介護会議 16 就労B型会議 21 職員会議	1/30-2/14 中九州短大 4名 2/20-3/7 中九州短大 4名	7 就業生活支援 結 2名 8 地域清掃 23 かんね 3名	1 就労支援基礎研修 1名 10 市障がい者福祉事業所連絡会交流会 1名 20-21 サービス管理責任者研修会 1名 22 成年後見人制度利用促進研修会 1名 27-28 サービス管理責任者研修会 1名 27 水害土砂災害に関する説明会 1名 28 就労ネットワーク会議 1名
3	4 レクリエーション(DVD鑑賞) 6-10 利用者体調週間 10 社会科見学(生活班:三角方面) 14 社会科見学(軽作業班:天草方面) 16 社会科見学(印刷班:天草方面) 28 社会科見学(パン班:人吉方面)	21 消防総合訓練	13 就労B型会議 14 就労移行会議 15 生活介護会議 22 職員会議	2/20-3/7 中九州短大 4名 3/13-3/29 中九州短大 4名	8 地域清掃 9 かんね 3名 10 八代支援学校卒業式出席 17 更生病院 3名	1 会計実務研修会 1名 2 すまいるフェスタ実行委員会 1名 6 就労支援連絡会議 1名 7 安全運転講習会 1名 13 県社会就労センター施設長会 1名 22 県施設協会職種別部会 2名 24 熊本県集団指導 2名
合計				体験実習件数 21件 体験実習延べ人数 49名	交流団体件数 26件 交流者延べ人数 68名	